

活動報告レポート

アドバイザー氏名	高村 裕美
実施日、時間	令和5年12月18日(月) 10:40 ~ 11:25
実施団体	上尾市立中央小学校2年生
対象者(人数)	99名
実施場所	上尾市立中央小学校 ワークスペース
講座等の名称	身近な町と私たちの生活
講座等の分野※	⑫消費生活・衣食住
活動内容及び 受講者の反応	<p>12月18日(月)3時間目、2学年生活科町たんけんの学習を深める授業を行いました。身近な物がどこから来てどこへ行くのか、私たちの生活は地球規模でつながっていることを簡単な言葉でていねいに伝えました。学年全体でワークスペースに大型テレビを設置してクイズなどをまじえながら進めました。子どもたちは、積極的に発言して、時々歓声をあげながら楽しく学習していました。子どもたちの感想としては、「外国からたべものがきているなんてはじめて知りました」「ようぶくは日本からだけではなく外国からもきているなんてびっくりしました」「水は川からきたことがびっくりしました」「電気や水をつくるのはすごきたいへんだとおもったので、たいせつにしようと思いました」「ニワトリやぶたさんのいのちをいただいているので、ごはんはのこさずたべようと思います」「いつもさりげなくつかっているでんきやみずがあんなにむずかしい(工程を経て作られている)なんてびっくりしました」「いままで、わたしはかんきょうのことをあまりかんがえないでくらしていたけど、このがくしゅうをして、でん気、水、そのほかのものすべてがたいせつだとわかりました」「ふつうにくらしていたけど、こんなにぶくやたべものをつくるのには、すごくろうするんだってということがわかりました」「これからでんきや水をむだづかいせずにつかおうと思います」「せかいがつながっているのがわかりました」「いろいろな人ががんばって(くれるおかげで)ゆたかにくらせていることがわかった」「もったいなことはしないように、かんきょうにやさしい日本にしたい」など、自分たちの身近な生活が多くの人に手によって、また、地球の資源によって支えられていることを学べた様子が見られました。</p>

活動写真

